

釧路市は夕張から何を 学ぶべきか

2007年5月24日 釧路公立大学 講師 下山 朗

1

• • •

報告の流れ

- 夕張市と財政再建団体
- ○夕張市の経済・産業構造
- 夕張市の財政構造~夕張市の財政構造 はどこが問題だったのか?~
- 釧路市との比較
- 釧路市が学ぶこと

1. 夕張市と財政再建団体

○ 2007年3月6日を持って財政再建団体認定

財政再建団体とは?

地方財政再建促進特別措置法(再建法)に基づき、<u>赤字額が標準財政規模</u>の5%(都道府県) または<u>20%(市区町村)</u>を超えた破綻状態にあり、総務大臣に<u>申請</u>して指定を受けた地方自治体のことをいう。

○正式には「<u>準用財政再建団体</u>」とよぶ。

1. 夕張市と財政再建団体

- 夕張市の前に適用があった自治体・・・・福岡県赤池町(現在の福智町)
- 赤池町の状況
 1992年度に財政再建団体となり、2001年度に再建が完了。
- 市では三重県旧上野市(1977年)以来約30年 ぶり、道内では渡島管内福島町(1969年~ 1972年再建終了)以来。

▶ ● 1-1 夕張市の様々な財政指標

表1 夕張市の経済指標(平成16年度)

ব	体	名	住民基本台帳登 載人口	面 積 (7.10.1現在)	標準財政規模
			(17.3.31現在)(人)	(16.10.1現在)(km²)	(千円)
夕引	長市		13,615	763.20	4,525,155

表2 夕張市の財政指標(平成16年度)

公債費比率	財政力指数	実質収支比率	経常収支 比率		
(%)		(%)	(%)	人件費(%)	公債費(%)
20.5	0.22	0.01	116.3	50.9	29.6

出所:ともに「市町村別決算状況調」より作成。 財政指標の定義は別紙参照

5

1-1 夕張市の様々な財政指標

表3 夕張市の実質赤字額及び全体債務額について

実質赤字額(一時 長期借入金等(地 借入等) 方債) 普通会計 40.6 178.8 水道会計 -0.5 24.7 市 病院会計 39.4 6.6 観光会計 144.7 52.6 その他特別会計 33.1 28.2 石炭の歴史村 夕張観光開発 第3セク 41.1 <u>夕張木炭製造</u> 公社等 土地公社等 43.1 257.3 375.1

単位:億円

出所:「夕張市の財政運営に関する調査」より作成

1-1 夕張市の様々な財政指標

表4 夕張市の実質赤字の推移

単位:億円

		2001	2002	2003	2004	2005
	普通会計	15.1	21	32	38.1	40.6
	水道会計	-0.9	-1.1	-1.2	-1	-0.5
市	病院会計	25.8	29.4	32.2	35.9	39.4
	観光会計	79.6	84.5	100.8	123.1	144.7
	その他特別会計	18.9	22.1	25.5	28.3	33.1
合計		138.5	155.9	189.3	224.4	257.3

出所:「夕張市の財政運営に関する調査」より作成

普通会計だけでみても、

2001年度現在で15.1億円 = 実質収支比率 - 25.8%

7

1-1 夕張市の様々な財政指標

表5 実質赤字の要因(道調査、最終報告より)

総括的事項	市財政の許容範囲を超えた財政支出
	収入の大幅な減少への対応の遅れ
	財務処理手法の問題
普通会計	公債費が多額
	人件費が多額
病院事業会計	患者数の減少
	病床利用率の低下
	医師を除く一部の医療職職員の給与の高さ
観光事業会計	観光事業の不振と改革の遅れ
	運営経費の赤字
	第3セクターに対する多額の観光施設管理委託
宅地造成事業	土地の販売不振
会計	土地の取得・造成に係わる元利償還金の累積

出所:「夕張市の財政運営に関する調査」より作成

2. 夕張市の経済・産業構造

夕張市の歴史

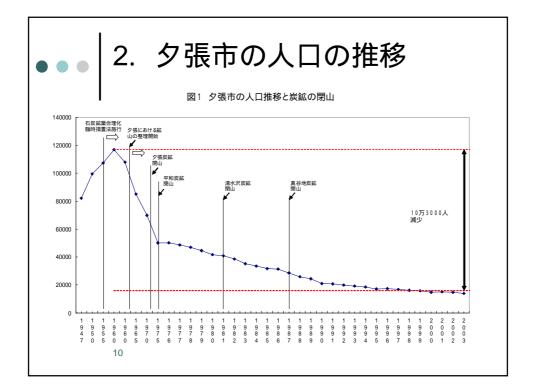
夕張市はかつて空知炭田の中核をなし、「炭都」とよばれ、人口<u>12万人</u>、石炭出産400万トンを誇っていたが、その人口は1万2000人台まで減少(図1)。

夕張市の現在の人口構成は、きわめて特異であり、高齢者割合は全国1位の40.2%

(ちなみに若年者人口も最低の7.4%)。

生活保護率は2.53%となっている。

札幌から1時間半程度の距離にあるが、市面積の92%は林野である。



2-1.産業の状況・推移

産業構成について - (表6)

2000年には、第1次産業が13.2%、第2次産業が24%、第3次産業が62.8%。

1985年と比較すると・・・

第2次産業の落ち込みが著しい。

1985年 2000年 鉱業人口 3608人(26.3%) 7人(0.1%)

11

2-1. 産業の状況・推移

表6 夕張市の産業別人口の推移

		100	5年	199	0年	100	5年	200	0年
		_							
	人数		構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
第一次産業	1,	124	8.2	1,043	12.1	990	13.1	844	13.2
農業		865	6.3	854	9.9	889	11.8	804	12.6
林業		259	1.9	189	2.2	100	1.3	40	0.6
漁業			0.0		0.0	1	0.0		0.0
第二次産業	5,	857	42.7	2,265	26.3	1,867	24.7	1,536	24.0
鉱業	3,0	806	26.3	104	1.2	10	0.1	7	0.1
建設業		955	7.0	1,103	12.8	899	11.9	707	11.0
製造業	1,3	294	9.4	1,058	12.3	958	12.7	822	12.8
第三次産業		721	49.1	5,296	61.6	4,699	62.2	4,022	62.8
電気・ガス・熱・ 業・水道業	供給	141	1.0	100	1.2	84	1.1	58	0.9
運輸·通信		904	6.6	600	7.0	468	6.2	354	5.5
卸売・小売・飲	食 2,	119	15.5	1,618	18.8	1,406	18.6	1,041	16.3
金融·保険業		239	1.7	150	1.7	108	1.4	81	1.3
不動産業		17	0.1	9	0.1	17	0.2	18	0.3
サービス業	2,0	627	19.2	2,245	26.1	2,088	27.6	2,061	32.2
公務		674	4.9	574	6.7	526	7.0	409	6.4
その他			0.0		0.0	2	0.0		0.0
総数	13,		100.0	8,604	100.0	7,556	100.0	6,402	100.0

2-1. 産業の状況・推移

商業について - (表7)

商店数、従業員数、販売額共に大幅減。人口は3割に。その他の指標は4割程度

表7	47	课;	#m	茜	坐	$\boldsymbol{\sigma}$	堆秘
XV I	<i>"</i>	TV	$\mathbf{H} \mathbf{V} \mathbf{A}$	nen l		u j	TH-147

年	商店数	従業員数	販売額(百万円)	人口
1976年	639	2,472	3,574	49,407
1979年	622	2,417	3,803	44,406
1982年	621	2,267	4,546	39,108
1985年	556	1,975	3,506	32,823
1988年	501	1,843	3,253	31,684
1991年	421	1,477	2,697	20,933
1994年	364	1,490	2,429	18,668
1997年	334	1,148	2,071	16,935
2002年	248	954	1,433	14,816

出所: 夕張市 "夕張の概况説明(平成18年度)』。

2-2. 観光事業について

- 夕張市の観光開発事業の生成と発展について(表8) -観光政策 勃興期

市役所主導の事業推進政策

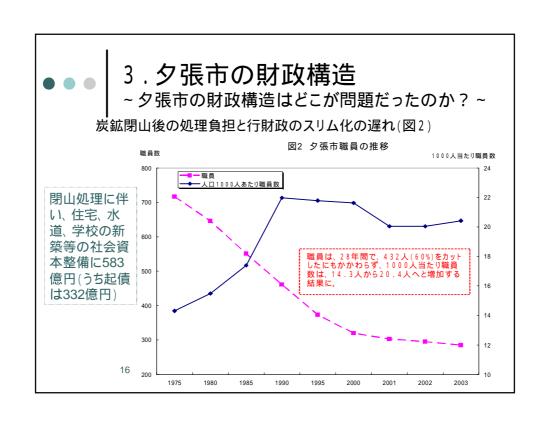
財源・・・国庫補助金、過疎債などの交付税措置のある地方債 主体・・・第3セクターが中心 例:石炭の歴史村観光株式会社

観光政策 転換期 観光資源として、市役所主導の政策が効果を発揮

観光政策 苦境期

バブル崩壊等に伴い、民間企業の撤退相次ぐ 市は、地域の雇用状況等も考え、再買収を行う さらに、多角化を狙い、その他の観光施設を建設

_	1970年代後	後半 観光開発事業へ取り組み	
		観光資源は乏しい(自然・温泉・遊戯等)	
	1983年	石炭の歴史村 全面オープン	- 観
		博物館は1980年、アドベンチャーファミリー(遊園地)等が1983年6月に完成	光 政
I	1984年	Mtレースイ国際スキー場 オープン	- 策
	1985年	めろん城 開設	勃
	1986年	メロンブランデーの製造·出荷	興
		3月に経済同友会賞「美しい都市づくり賞」	期
主。 クルナの知火		ゆうばりホテルシューパロ オープン	
表8 夕張市の観光 開発事業の生成と発			
展	1988年	松下興産、Mtレースイスキー場を買収	転
	1991年	ホテルMtレースイ竣工	換水
	1992年	松下興産、ホテルシューパロ 買収	期第
			観
出所:横山純一	1996年	ホテルシューパロ、再び市に売却	
出所:横山純一 (2006)「夕張市の	1996年	ホテルシューパロ、再び市に売却 市は7月にリニューアルオープン	光.
(2006)「夕張市の 財政問題」「自治総	1996年		
(2006)「夕張市の	1996年	市は7月にリニューアルオープン バブル崩壊、スキー人口の減少などにより利用	光.



3. 夕張市の財政構造

~ 夕張市の財政構造はどこが問題だったのか? ~

観光・リゾート開発とその後の費用負担 ホテルシューパロの買取(20億円)、レースイリゾートの買取 (26億円)等

不適切な会計処理(図3)

特別会計、一般会計間の不適切な会計処理 典型的な自転車操業・・・釧路市も一部同様の手続き?? 決算にもその特徴(表8)

国の行政改革の地方への転嫁(表9)地方交付税の縮小・廃止が行われる

17

3. 夕張市の財政構造 ~ 夕張市の財政構造はどこが問題だったのか? ~ 図3 夕張市の財務処理手法のイメージ 特別会計等 一般会計 平成15年 の別会計の 歲出 貸付金 資金不足が 平成14年 度 諸収入 毎年1億円 貸付金 歳出 発生すると 2億円 想定した場 諸収入 合 1億円 特別会計 借入金 平成15年 出所: 『夕張 ^{歳出}償還金 歳出 1億円 市の財政 平成14年 度 借入金 運営に関 ^拙償還金 歳出 する調査』 より作成 平成13年 競入 借入金 18 出所:『夕張市の財政運営に関する調査』より作成

3. 夕張市の財政構造

~ 夕張市の財政構造はどこが問題だったのか? ~

表8 夕張市の歳入内訳(一部抜粋)

<u>夕張</u> г	ħ		衣のン分	ヌロの成人	一)元例	司对及科(
	一地方税	交付税総額	十九諸収入	(内訳)			二十地方債
				公営企業貸付 金元利収入	貸付金元利収入	7雑入	
1996	6.5%	37.5%	18.7%		7.8%	10.9%	5.7%
1997	7.0%	37.5%	24.4%		16.5%	7.9%	3.3%
1998	6.1%	36.2%	22.9%		15.4%	7.5%	5.9%
1999	4.8%	29.0%	22.5%		14.7%	7.8%	16.9%
2000	6.4%	38.8%	31.5%		21.8%	9.7%	3.9%
2001	5.4%	29.8%	29.7%		21.3%	8.3%	9.4%
2002	6.2%	31.2%	33.4%		27.9%	5.5%	7.9%
2003	5.7%	29.3%	42.4%		38.0%	4.4%	6.1%
2004	5.0%	23.7%	51.5%	0.2%	47.9%	3.4%	5.5%

表9 地方交付税額の推移

単位:百万円

I	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002		2004
l	7,296	7,145	7,048	6,988	6,801	5,970	5,368	4,982	4,588

出所: ともに 「市町村別決算状況調」より作成。

■ 4. 釧路市との比較

財政状況の比較(表10,11)

夕張市と比較して、財政規模も大き〈、財政力 指数、経常収支比率も安定的

人件費部分が小さい(逆に公債費が高い) 公債費部分をいかに落とすかが重要 財政構造の比較(表12)

諸収入は夕張市と同様大きな割合。貸付金元利収入は近年低下傾向にあるが、代わりに公営企業貸付金元利収入が伸びてきているこういった個々の統計的に見られる"異常値"の検証(ディスクロージャー)が必要。

釧路市との比較

表10 釧路市の経済指標(平成16年度)

団体	Ź	住民基本台帳登 載人口 (17.3.31現在)(人)	面 積 (7.10.1現在) ^{(16.10.1現在)(k㎡)}	標準財政規模
釧路市	ī	185,159	222.10	40,743,478

表11 釧路市の財政指標(平成16年度)

公債費比率	財政力指数	実質収支比率	経常収支 比率	左(のうち
(%)		(%)	(%)	人件費(%)	公債費(%)
15.6	0.51	1.80	90.2	30.9	21.4

21

3.**夕張市の財政構造** ~ 夕張市の財政構造はどこが問題だったのか? ~

表12 地方交付税の推移

釧路市	釧路市										
	一地方税	交付税総額	十九諸収入	(内訳)			二十地方債				
				公営企業貸付 金元利収入	貸付金元利収入	7 雑入					
1996	27.5%	17.3%	19.6%	5.2%	13.7%	0.5%	12.4%				
1997	28.1%	18.0%	20.8%	5.8%	14.5%	0.5%	8.3%				
1998	26.2%	18.7%	20.2%	6.4%	13.2%	0.5%	9.2%				
1999	24.6%	19.5%	18.3%	6.4%	11.2%	0.6%	8.2%				
2000	24.8%	22.5%	18.1%	7.3%	10.0%	0.7%	7.4%				
2001	24.5%	20.7%	19.3%	8.2%	9.6%	1.5%	9.6%				
2002	23.5%	20.1%	20.2%	9.3%	9.7%	1.1%	9.9%				
2003	22.3%	19.9%	20.5%	10.5%	9.4%	0.6%	9.7%				
2004	21.4%	18.9%	22.3%	11.7%	9.8%	0.7%	10.7%				

出所: 「市町村別決算状況調」より作成。

4. 釧路市との比較

経済・産業構造の比較 表13 釧路管内の産業別就業者数の推移

								単位:人
	1965年 昭和40年	1970年 昭和45年	1975年 昭和50年	1980年 昭和55年	1985年 昭和60年	1990年 平成2年	1995年 平成7年	2000年 平成12年
第一次産業	24,185	21,839	19,598	18,335	17,169	15,512	13,140	11,175
第二次産業	38,167	35,523	37,348	37,809	35,070	34,374	35,067	32,237
第三次産業	62,531	74,590	80,773	87,522	90,015	90,715	93,805	91,070
総数(分類不 明除)	124,883	131,952	137,719	143,666	142,254	140,601	142,012	134,482

	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年
	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
第一次産業	19.4%	16.6%	14.2%	12.8%	12.1%	11.0%	9.3%	8.3%
第二次産業	30.6%	26.9%	27.1%	26.3%	24.7%	24.4%	24.7%	24.0%
第三次産業	50.1%	56.5%	58.7%	60.9%	63.3%	64.5%	66.1%	67.7%

23

5. 釧路市が学ぶこと

チェック機能 会計情報の透明性 ランニングコスト意識 基幹産業の育成(再生?) 等

6. 参考文献

- o 白川 一郎(2007)『自治体破産 再生の鍵は何か』日本放送出版協会.
- o 内藤 貴子(2007)「地方自治体の主な経営分析指標とその問題点、および新たな指標」、RPレビュー vol.20、 1、pp.61-69.
- 橋本 行史(2001) 『財政再建団体 何を得て、何を失うのか 赤池 町財政再建プロセスの検証』公人の友社.
- o 保母 武彦(2007)『夕張破綻と再生 財政危機から地域を再建するために』自治体研究社.
- o 横山純一(2006)「夕張市の財政問題」『自治総研』336号、p.1-31.